

## 令和5年度事業報告

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月から感染症法上の位置づけが5類に移行されましたが、2類のときと同様に施設内でクラスターが発生すると、終息までかなりの時間を要し、入所者様、ご家族様には、ご不便ご心配をおかけしてまいります。さらに、職員は入所者様の重症化対策のため、予想以上の緊張と心配が続き、心身の疲労の蓄積が非常に大きくなることとなってまいります。そのような中で、法人としても感染拡大防止のため、引き続きできる限りの感染対策と、職員への注意喚起を行ってまいりました。

しかしながら、職員・関係者の努力にもかかわらず、令和5年度にも、12月末から3月末にかけて、ケアハウスたくま、たくま荘でクラスターが発生し、感染拡大防止対策に追われることになりました。

このような状況を踏まえて、法人として職員とともに、感染拡大防止のため、今後とも感染予防対策の徹底とクラスター発生時の神速な初期対応を、より一層努めてまいります。

#### ケアハウスたくま

令和5年12月31日 入所者1名感染、令和6年1月23日終息まで入所者18名が感染しました。

#### たくま荘

##### あじさい・つつじユニット

令和6年1月14日 職員1名感染、1月31日に終息するまで入所者8名、職員6名が感染しました。

##### すみれ・さくらユニット

令和6年3月13日 職員1名感染、3月30日に終息するまで入所者20名が感染しました。

### 2. たくま荘ショートステイ間仕切り設置工事について

たくま荘のショートステイ間仕切り設置工事を実施しました。

「香川県地域密着型サービス等整備事業費補助金交付要綱」が改正され、既存の特別養護老人ホームに併設されるショートステイ用居室についてもプライバシー保護のための改修費用が補助対象となりました。

そこで、昨今の新型コロナウイルス感染症に対応するためにも4人部屋をカーテンから建具での間仕切りに変更することで、利用者のプライバシーにも配慮し感染リスクを

低減するための間仕切り設置工事を実施しました。

対象のお部屋は101号～103号の3部屋で総事業費は12,650,000円で、補助単価が当初予定の1床あたり734,000円から800,000円に増額となり、補助額が12床で9,600,000円となりました。

### 3. 部署別事業計画及び事業目標

#### 特別養護老人ホームたくま荘

令和5年度は、1月と3月の新型コロナのクラスター発生により新規入所の受入れを中止しましたが、前年度と比べて年間入居率は4.17ポイント改善され89.2%となりました。ショートステイについても、稼働率は2.1ポイント改善され62.3%となりました。

#### 地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

特養の入所率は前年同様94.06%となりましたが、令和5年度は、ショートステイについては、長期休職者があり受け入れが困難となった期間が続き、稼働率が10ポイント低下し49.9%となりました。

#### たくま荘デイサービスセンター

昨年度はコロナ対応のための営業中止がありましたが、令和5年度はコロナの影響もなく、安定した人数の利用がありました。利用者の増加も図られ、稼働率は5.1ポイントの増加し81.0%となりました。

#### 大浜デイサービスセンター

年々、利用者が減っており経営的に非常に難しくなっております。荘内地区の人口が減少しておりますので、今後の利用者増は難しいと考えられます。関係者のご意見をお聞きしながら、たくま荘デイサービスセンターとの統合についての検討を進めてまいります。

#### ケアハウスたくま

年間の退所者数が14名、入居者が9名となり、退所者に対する入所者の確保が困難となっております。なお一層の、関係先への積極的な広報活動が必要と考えております。

#### 居宅介護支援事業所たくま荘

利用者数は、ケアマネジャー5名で月184件でした。昨年度の189件より減少しましたが、年度当初の目標件数の190件を達成するように努めます。